

製品名: NQO1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87481**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:31 kDa; Observed MW:31 kDa

抗原情報

遺伝子名	NQO1
別名	DTD; QR1; DHQU; DIA4; NMOR1; NMORI
遺伝子 ID	1728
SwissProt ID	P15559
免疫原	ヒトNQO1の合成ペプチド

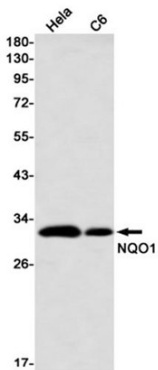
背景

この遺伝子は NAD(P)H 脱水素酵素（キノン）ファミリーに属し、細胞質 2 電子還元酵素をコードする。この FAD 結合タンパク質は

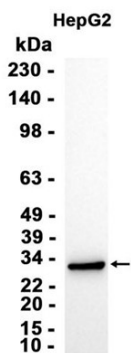
ホモ二量体を形成し、キノンをヒドロキノンに還元する。このタンパク質の酵素活性は、ラジカル種の生成につながるキノンの1電子還元を阻害する。この遺伝子の変異は、遅発性ジスキネジア (TD)、ベンゼン曝露後の造血毒性リスクの増大、そして様々な形態の癌に対する感受性と関連付けられている。このタンパク質の発現変化は多くの腫瘍で認められており、アルツハイマー病 (AD) とも関連している。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられている。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

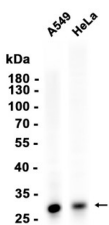
画像データ



NQO1 抗体 (1:1000 希釈) を用いた HeLa、C6 細胞溶解物中の NQO1 のウェスタンブロット検出



AMRe87481 を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。



AMRe87481 を 1:1000 で使用して A549、HeLa 細胞からの抽出物をウェスタンブロット分析しました。